記 者 発 表 資 料

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令 和 ３ 年 １ ２ 月 ３ 日
国土交通省東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所
大　　崎　　市

鳴瀬川総合開発事業　流域連携シンポジウム を開催

○鳴瀬川総合開発事業は洪水被害の軽減、大崎耕土へのかんがい用水の安定的な供給、良好な河川環境の保持、自然エネルギーによる発電など鳴瀬川沿川地域への大きな効果が期待される事業です。
○一方、鳴瀬川ダムをはじめとした鳴瀬川総合開発事業の実施は、建設地域すなわち水源地域の方々の理解と協力のうえに成り立つものです。
○これから新たなステージに入る鳴瀬川総合開発事業を契機に、鳴瀬川沿川地域と水源地域が互いを理解し、様々な交流や連携への取り組みを議論するシンポジウムを開催いたします。

１．日　時　：　令和３年１２月１９日（日）１３：００～１６：２０
（開場　１２：３０～　）

２．場　所　：　やくらい文化センター（大ホール）
（宮城県加美郡加美町字中原南１０５番地）

３．内　容　：　第１部　基調講演「ツーリズムにおける人の流れの作り方」
第２部　パネルディスカッション
・テーマ１「今後本格化するダム建設事業への期待」
・テーマ２「水源地域との交流と流域連携」

４．定員等　：　参加無料で先着２００名（要事前申し込み）

５．主　催　：　鳴瀬川総合開発事業流域連携シンポジウム実行委員会
後　援　：　一般社団法人　東北地域づくり協会

６．その他　：　取材を希望される場合は、会場設営等の都合上、取材人数を把握したいため、１２月１５日（水）１５：００迄に下記のとおりメールにてご連絡をお願いします。
・件　名：【取材希望】流域連携シンポジウム
・本　文：①会社名　②取材者代表名　③取材人数　④連絡先
・送付先：thr-narusou02@mlit.go.jp

＜発表記者会：古川記者クラブ、東北専門記者会＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　鳴瀬川総合開発工事事務所
電話：０２２９－２２－７８１１（代表）
調査設計課長　佐藤（さとう）　直哉（なおや）　（内線３５１）

宮城県　大崎市　建設部　都市計画課
電話：０２２９－２２－８０６９
都市計画課長　遠藤（えんどう）　典夫（のりお）

○新型コロナウィルス感染防止対策について

【傍聴・取材の皆様へのお願い】
・会場では「マスクの着用」をお願いします。
・受付にて体温を計測いたします。（非接触型体温計使用。）体温が３７．５度以上の方の入室はご遠慮頂きますのでご了承願います。
・消毒液を準備します。手などの消毒にご協力願います。
・取材人数については各社必要最小人数とし、マスクの着用など感染症予防対策にご協力をお願いします。

【会場での対策】
・シンポジウム関係者はマスクを着用して対応します。
・受付にはビニール膜、パーティション等を配置します。
・机、いす等手の触れる箇所の消毒・清拭を行います。
・スピーディな進行を心がけ、予定時間に終了できるように勤めます。

鳴瀬川総合開発事業
流域連携シンポジウム

鳴瀬川総合開発事業は洪水被害の軽減、大崎耕土へのかんがい用水の安定的な供給、良好な河川環境の保持、自然エネルギーによる発電など鳴瀬川沿川地域への大きな効果が期待される事業です。

一方、鳴瀬川ダムをはじめとした鳴瀬川総合開発事業の実施は、建設地域すなわち水源地域の方々の理解と協力のうえに成り立つものです。

これから新たなステージに入る鳴瀬川総合開発事業を契機に、鳴瀬川沿川地域と水源地域が互いを理解し、様々な交流や連携への取り組みを進めて行きましょう。

入場無料　200名（先着順）　要事前申込

開催日時　令和3年

12月19日（日）

13:00～16:20
（開場 12:30）

会場　やくらい文化センター（大ホール）
〒981-4341 宮城県加美郡加美町字中原南105番地

シンポジウムに関する お問い合わせ
鳴瀬川総合開発工事事務所　調査設計課　TEL：0229-22-7830

プログラム

オープニングセレモニー　小野田莱鳴（らいめい）太鼓

第1部　基調講演
「ツーリズムにおける人の流れの作り方」

第2部　パネルディスカッション
テーマ1「今後本格化するダム建設事業への期待」
テーマ2「水源地域との交流と流域連携」



郷土芸能の小野田莱鳴太鼓

主催　鳴瀬川総合開発事業流域連携シンポジウム実行委員会
鳴瀬川総合開発促進期成同盟会・国土交通省 鳴瀬川総合開発工事事務所

後援　一般社団法人 東北地域づくり協会

鳴瀬川総合開発事業　流域連携シンポジウム

TIME TABLE　~~ タイムテーブル ~~　13:00 ~ 16:20

TIME	プログラム
13:00	開　会
13:05	**オープニングセレモニー**　**小野田莱鳴太鼓（らいめい）**
13:25	鳴瀬川総合開発事業に伴う損失の補償に関する協定書調印式（概要ビデオ上映）
13:40	挨　拶　伊藤 康志 氏（実行委員長／大崎市長）
13:45	**第1部**　基調講演 **「ツーリズムにおける人の流れの作り方」** **講演者**　門脇 伊知郎 氏（合同会社 わんぱく 代表）
14:30	休　憩
14:45	**第2部**　パネルディスカッション テーマ1　**「今後本格化するダム建設事業への期待」** テーマ2　**「水源地域との交流と流域連携」** **コーディネーター** 平岡 善浩 氏（宮城大学　教授、事業構想学群副学群長、基盤教育群長） **パネリスト** 髙橋 太治 氏（鳴瀬川ダム補償対策地権者会連絡協議会　会長） 千葉　榮 氏（鶴田川沿岸土地改良区　理事長） 猪股 洋文 氏（加美町長） 加藤 慶太 氏（東松島市副市長） 二瓶 昭弘 氏（鳴瀬川総合開発工事事務所長）
16:15	閉会挨拶　猪股 洋文 氏（加美町長）

プロフィール　（順不同）



講 演 者

門脇 伊知郎 氏

合同会社 わんぱく 代表
(株)流山ツーリズムデザイン(DMO)
代表取締役 CEO
観光庁「新たな旅のスタイル」
促進事業 アドバイザー
東京都中小企業振興公社 登録専門家

27年間勤務したJTBを退社後、地域活性化のコンサルティングに特化した「合同会社わんぱく」を設立。観光地経営の中心となるDMO設立支援、自治体のシティプロモーション戦略の推進、地域資源発掘と磨きあげ、観光人材育成のための講演・研修講師などを行う傍ら、中小企業の支援等も行い、観光業界に留まらない地域の活性化に取り組んでいる。



コーディネーター

平岡 善浩 氏

宮城大学 教授
事業構想学群副学群長
基盤教育群長

平成7年東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻博士課程満期退学。平成14年より宮城大学事業構想学部 専任講師、同准教授を経て、平成23年より現職の宮城大学事業構想学群 教授に就任。主に建築設計、まちづくり、コミュニティデザインを専門としている。



パネリスト　**髙橋 太治 氏**
鳴瀬川ダム補償対策地権者会連絡協議会 会長

昭和57年９月の地権者会連絡協議会発足時から、長年に渡り役員として尽力。協議会の他、地元行政区長も務める等、地元の取り纏めや行政機関との調整に取り組む。
平成23年より会長に就任し、現在に至る。



パネリスト　**千葉　榮 氏**
鶴田川沿岸土地改良区　理事長

平成16年9月に鶴田川沿岸土地改良区理事、平成20年9月理事長に就任、現在に至る。平成27年12月設立した吉田川流域土地改良事業連絡協議会会長も兼務。土地改良事業のみならず、地域資源保全管理等、環境を守りつつ活気ある地域づくりを目指した企画立案、推進活動を継続している。



パネリスト　**猪股 洋文 氏**
加美町長

平成23年8月より加美町長に就任し、現在に至る。鳴瀬川総合開発促進期成同盟会の副会長も務めている。町主導の新電力会社「かみでん里山公社」の設立や、音楽を軸とした町づくりなど、「善意と資源とお金が循環する持続可能な魅力ある町」を目指し、地方創生事業等に積極的に取り組んでいる。



パネリスト　**加藤 慶太 氏**
東松島市副市長

宮城県職員・自治省職員・気仙沼市副市長等を経て、平成30年4月から東松島市副市長に就任し、現在に至る。平成30年6月、渥美市長とともに、東松島市が「SDGs未来都市」に認定されたことに主導的役割を果たす。SDGsの大きな目標である「住み続けられるまちづくり」を目指し、震災復興・地方創生等に取組んでいる。



パネリスト

二瓶 昭弘 氏
鳴瀬川総合開発工事事務所長



事前参加申込書　必要事項をご記入の上、①郵便（はがき・封書）②電話 ③FAX ④Eメール にてお申し込みください。

氏　名 （代表者名）	（他　　名） ※団体・複数名参加の場合は、代表者名及び人数の記載をお願いします。	所　属	
住　所		連絡先	TEL

申込先　①郵送先：〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通 1-5-18 ふるさとプラザ３～４階「鳴瀬川総合開発工事事務所 調査設計課」宛
②TEL：0229-22-7830　③FAX：0229-22-7822　④Eメール：thr-narusou02@mlit.go.jp

申込締切／12月13日（月）